

強力なグラフィック機能

Twight の XML は、独自の**テキストスタイリング**機構により、標準 XML に比べて簡潔にマークアップすることが可能です。CSS では、独自のプロパティを実装することで、より高度なスタイリングを実現しています。また、**CSS レイヤー**機能を用いることで、スポーツ新聞等にみられる複雑な装飾を表現することもできます。

スポーツ新聞の見出し風タイトル
えたいの知れない不吉な塊が

自在なページレイアウト

段組み・段抜き・字取り処理や版面計算の自動化等、柔軟なレイアウトの実現をサポート。外部プロセスと連携して、LaTeX の数式組版の挿入にも対応しています。



$$\int_a^b f(x)dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=0}^{n-1} f(x_k)\Delta x;$$

S_n の代わりに、和

$$T_n = f(x_1)\Delta x + f(x_2)\Delta x + f(x_3)\Delta x + \dots + f(x_n)\Delta x = \sum_{k=1}^n f(x_k)\Delta x;$$

を考えると、結果は同様で、次の等式が成り立つ。

$$\int_a^b f(x)dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n f(x_k)\Delta x;$$

関数 $f(x)$ が閉区間 $[a, b]$ で連続ならば、常に $f(x) \geq 0$ と仮定しなくても、一般に、定積分について次の等式が成り立つ。

定積分の和の極限 (1)

$$\int_a^b f(x)dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n f(x_k)\Delta x;$$

高度な組版機能

日本語組版では追い込み・追い出し・ぶら下がり・ルビ・縦中横・割注・字取りといった高度な機能に対応し、W3C「**日本語組版処理の要件**」に準拠した組版を実現しました。

欧文組版では、**Knuth-Plass Algorithm** の採用により、高品質な行分割処理を実装しています。

注 未踏事業 (2000年に開始された情報処理推進機構による人材発掘育成事業)

▲ 囲み文字・モノルビ・割注 ▼ プロポーショナルメトリクス・ペアカーニング

時に、初春の令月にして、気淑く風和らぎ

時に、初春の令月にして、気淑く風和らぎ

縦中横・ぶら下がり・追い込み

号	降	年	二
の	2	5	万
一	4	月	葉
つ	8	1	集
。	番		
	目		

無限の拡張性

JavaScript と JSON から構成されるパッケージ群の**ライブラリ**を通じて、拡張 XML・CSS プロパティ・テキストコマンドとして独自機能を実装できます。

```
"script": ["tatechuyoko.js"],
"scope-dependent": true,

"property": {
  "tatechuyoko": {
    "type": "boolean",
    "inheritable": false,
    "target": "@",
    "function": {
      "typesetting": "tatechuyok",
      "final": "tatechuyokoFinal"
    }
  }
}

function tatechuyokoTypesetting_open(tag, property) {
  let subContent = new TextSubContent(tag, tag.endTag);
  chars = subContent.getCharacters();
  subContent.clearAttributes(), subContent.length -= 1;

  // closing
  subsequeChar = tag.endTag.getSubsequentChar();
  let subsequentContent = new TextSubContent(tag.endTag, subsequeChar);
  if (subsequentContent.containsCommand("br") || subsequentContent.containsCommand("pbr"))
    subsequeChar = null;
  if (subsequentChar != null)
    subsequeChar.set Kerning(1000);
}

// final processing
```

ソフトウェアは近日中にオープンソースで公開予定!!  @kyoto_ysfh